

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	リサージェンス 2019	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：リサージェンス 2019

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

比較対照ボール：カオス・ブラック

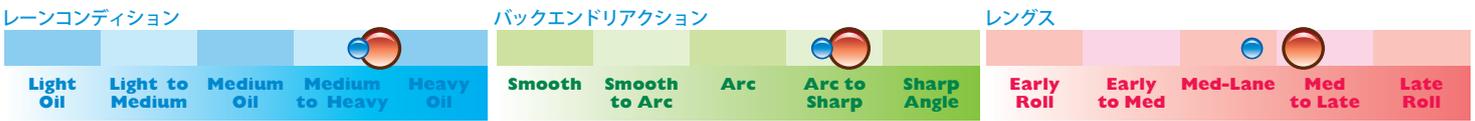
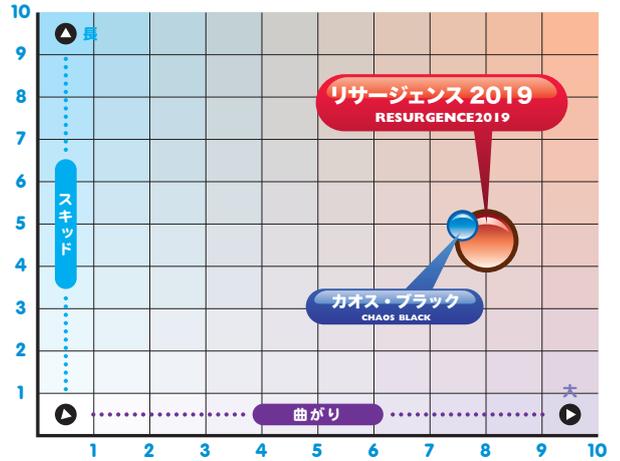
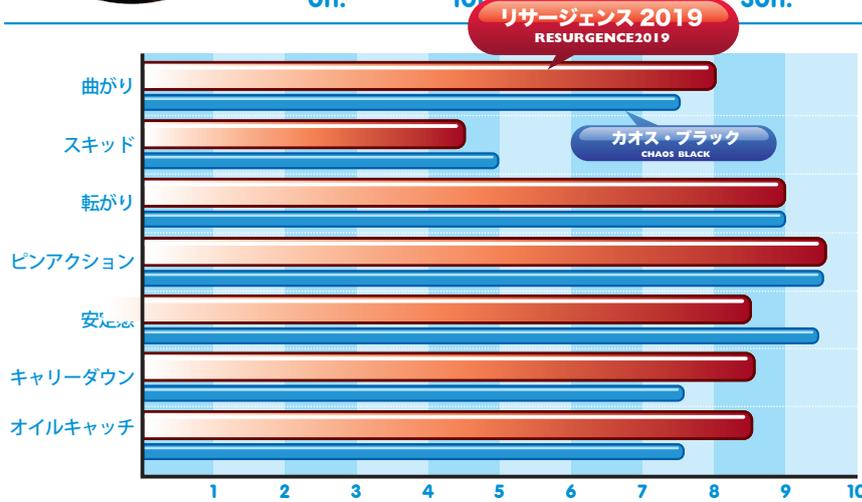
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

圧倒的なキャッチ力と持続的な曲がり。初代リサージェンスが発売された当時、これほどまでにオイルに強いボールはないであろう衝撃を受けたことが記憶に残ります。それから数余年、カバーの開発が進み、極端にザラザラの表面でなくともオイルに強く、またバックエンドのリアクションを意識したボールが数多くみられるようになりました。

今回発売するRESURGENCEも当時と変わらない同じ配色ですが、現代のニーズに合わせるように新たなテクノロジーを組み入れ、「昔の曲がるイメージから現代の曲がるイメージ」へとシフトチェンジしたRESURGENCEをお届けします。

まずRESURGENCEの代名詞であったNew ERAリアクティブからREFLEX Hybridへと変わったことで以前と違うことは、ミッドレーンで強く強調されたリアクションから減速傾向であったバックエンドも、現代のカバーはミッドで強く強調させてもバックエンドの反応も強調させた曲がりを生み出すことができるようになったことです。Solid素材とPearl素材双方の良い部分を共存させたHybridカバーはオイルの強さと共にPearl素材のような動きを得られるのが魅力です。このカバーストックは以前SWERVE GTに使用された素材と同等で、手前の厚いオイルを制御できる力を持ち、かつバックエンドで反応の良いリアクションが望めるHybridカバーストックです。さらにコロムビア社全製品に取り入れられているHyper Shock Technologyが領域を問わずピンキャリーを向上させ、ストライクアングルへの入射角不足甘さがでるラインでもストライクをもぎ取りにいけます。やや曇り気味の表面加工でも極端に掴みすぎず、オイルの強さとメリハリ感の得るリアクションが幅広いコンディションで対応が可能です。

私の場合はポリッシュされてあるボールでオイルに対しやや弱さを感じた場合、RESURGENCEを使用すると一気に安定感を感じることができます。手前のオイルを感じすぎるとき、キャリーダウンにやや流されるとき、RESURGENCEの進化が光ります。

特記事項

配色そのままRESURGENCEで、直進力と曲がりのイメージが高いバランスで良い仕上がります。光っているボールが不安定なときにこのボールを投げると不安定さが一気に解消されます